

いつかいち福寿苑だより

社会福祉法人かきつばた福祉会
特別養護老人ホームいつかいち福寿苑
施設長 清水 祐己



6月19日はデザートバイキングの日でした。
今回は委託会社であるグリーンハウスより
(他支店から飾り切りの得意な方が駆けつ
けてくださったようです)豪華なデザートを作
っていただきました。
皆様大変喜ばれていましたが、その中の
「すいかアート」には、「細かい技」に驚きの
声があがっていたようです。

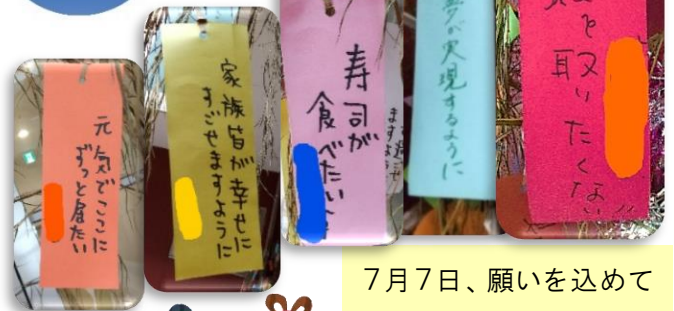


介護保険負担限度額認定の申請について

食費及び居住費を軽減する制度(介護保険負担
限度額認定)の認定の有効期間は、**毎年7月31日**
までとなっております。

有効期間満了後も認定を希望される場合は、市民
税の課税状況を確認する必要があるため、毎年更
新申請を行っていただく必要があります。

申請場所 :各区(広島市の場合)
各市の介護保険課
(未申請の場合や非該当となった際は、軽減制
度の対象外となりますのでご注意ください)



7月7日、願いを込めて
短冊を飾りました。
また、当日には「七夕そ
めん」をお出しました。



6/15 カフェ・ふくじゅ(認知症カフェ)Open

いつかいち福寿苑防災セミナー



2023年6月15日、認知症カフェを開催いたしました。

当日は 広島市防災士ネットワーク代表世話人 防災士 柳迫長三先生 を講師としてお招きし、「災害から命を守る～地域づくりは防災から～」と題してご講演いただき、18名の参加者の方々が熱心に耳を傾けていらっしゃいました。今回はその内容の一部をご紹介します。



- 過去の西日本豪雨災害時、避難すべき状況にあった84%が避難していない。

住民が避難をためらう主な要因

- ① 危機感の欠如「自分は大丈夫」という考え方。災害を過小評価する正常性バイアスにより判断を迷うケースが多い。
- ② 避難情報を理解していない。

住民が「自らの命は自らが守る」意識を持って自らの判断で避難行動をとるため、**防災タイムライン**を事前に作成しておくことが大切。



- 広島県では「ひろしまマイ・タイムライン」を作っていざという時に役立つよう推進。

「ひろしまマイ・タイムライン」とは、台風・大雨などのいつ起こるかわからない風水害から、自分や家族の命を守るための「自らの防災計画」のことで、自ら家族のとるべき行動について「いつ」「誰が」「何をするのか」「避難開始のタイミングをどうするか」などをあらかじめ決め、時系列に整理することによって、いざという時に慌てずに避難を行うことを目的としている。(マイ・タイムラインシートはネットからでも取り出し可能)

- 自助→近助→共助の連鎖で安全で住みよい街を!!

自ら行動を開始する 自分の家庭を守る
近隣に声掛ける 近隣を助ける
地域で共に助け合う



セミナーの後はお茶会となり、当苑機能訓練士によるピアノ演奏を聴きながら、皆様お茶を楽しまれました。

カフェ・ふくじゅ開催予定表

令和5年 7月27日(木)

夏場の水分補給・熱中症対策について

令和5年 8月24日(木)

香りと認知症の関係について
～アロマスプレーを作ろう!!～

講師:介護福祉士・アロマセラピスト
砂川沙央里さん

時間:14:00～15:00

場所:いつかいち福寿苑 1F 地域交流スペース

参加費:100円



トマト



夏野菜

4F 庭園では現在「夏野菜」を植えています。職員が日々水やりや、人口受粉等で育てた甲斐があり？今年は見事な茄子を収穫できました。



茄子

